

新宿文化センター休館前特別企画

ジョイントオルガンコンサート

響きあふたり

J.S. バッハ
× 高橋博子

前奏曲とフーガ ホ短調 BWV548
われ汝に別れを告げん BWV736
アラ・ブレーヴェ BWV589
天にまします我らの父よ BWV682
トリオ・ソナタ第5番 BWV529 より第1楽章

新宿文化センターの長期休館が目前に迫るこの日、
専属オルガニスト・高橋博子と早島万紀子が響きあう。
ふたりの音色を触媒として、無限に広がる共鳴の輪。
オルガン音楽史に燦然と輝く作曲家、バッハとメシアンが。
高橋博子とバッハが、早島万紀子とメシアンが。
そして、この世にただ一人の「あなた」とオルガンとが――

メシアン
× 早島万紀子

永遠なる教会の出現
聖霊降臨祭のミサ
1. 炎の舌 2. 見えるものと見えないもの
3. 叡智の賜物 4. 鳥と泉 5. 聖霊の風
天上の宴

2023. 10/21 土 開演17:00
開場16:30

新宿文化センター 大ホール

一般 ▶▶▶ 2,000円
区民割引 ▶▶▶ 1,000円
友の会割引 ▶▶▶ 800円

Ticket
(全席自由)

／ 発売日 / 令和5年7月19日(水) 12時～(窓口・電話・WEB)

／ 申込み・問合せ / 新宿文化センター
〒160-0022 新宿区新宿6-14-1
TEL.03-3350-1141

9:00～19:00(休館日:原則毎月第2火曜日)

※公演内容の変更及び中止等が発生した場合は、
新宿文化センターウェブサイトにてお知らせします。
(<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/bunka-center/>)
最新情報をご確認のうえ、ご来場ください。

【主催】公益財団法人新宿未来創造財団



Joint Organ Concert

響きあう“ふたり”



早島 万紀子 *Makiko Hayashima*

東京藝術大学音楽学部オルガン専攻を卒業。1977年フランスに渡り、フランスオルガン界の重鎮のミシェル・シャピユイ、アンドレ・イソワールに師事。長年にわたるフランス滞在中、教会オルガニストを務め、ヨーロッパ各地の歴史的オルガンを訪ねて研鑽を積むかたわら、演奏活動を始め。帰国後は、東京藝術大学等で後進の指導にあたりながら、主にフランスオルガン音楽の普及に力を注いできた。日本を代表するオルガニストとして古典から現代に至る幅広いレパートリーに取り組み、その色彩感あふれる演奏は国内外で高く評価されている。

1991年、新宿文化センターに大オルガンが設置されて以来、専属オルガニストを務めている。現在、フェリス女学院大学非常勤講師。

Hiroko Takahashi

高橋 博子

東京藝術大学オルガン科卒業、同大学大学院修了、ドイツ国立ハンブルク音楽演劇大学卒業、同大学国家演奏家試験を最優秀で合格。オルガンを今井奈緒子、W.ツェラー両氏に、ハルモニウムを伊藤園子氏に師事。1999年ドイツ・ツェレ・ニーダーザクセン国際オルガニストコンクール、2000年北ドイツ放送局(NDR)音楽賞国際コンクール共に優勝、審査員長であったグスタフ・レオンハルト氏より絶賛される。

現在、新宿文化センター専属オルガニスト、聖路加国際大学オルガニスト、明治学院協力オルガニスト。2020年に収録したCD『シャルル・トゥルヌミール』は、発売前から評論界で話題になる。レコード芸術で特選盤、朝日新聞、読売新聞、音楽現代で推薦盤に選ばれた。「骨の髄までカトリック。メシアンより内に籠る。そんな近代フランスオルガン音楽の奥の院に辿り着けて様になる奏者は少ない。それが日本に現れた!慌てず騒がずひたひたと。そして目くるめく恍惚!」(片山杜秀氏評)



[MAP]



ACCESS

- 東京メトロ副都心線 / 都営大江戸線
東新宿駅 A3出口より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線 / 副都心線
新宿三丁目駅 E1出口より徒歩7分
新宿三丁目駅 B3出口(伊勢丹前)より徒歩11分
- 都営新宿線
新宿三丁目駅 C7出口より徒歩10分
- JR線 / 京王線 / 小田急線
新宿駅東口より徒歩15分
- 西武新宿線
西武新宿駅より徒歩15分

